



西日本区ホームページ・<http://www.ys-west.or.jp/>
西日本区中部ホームページ・<http://www.ys-chubu.jp/>

2015年5月号

「主題」

- 国際会長** : 言葉より行動を
アジア地域会長 : 未来を始めよう、今すぐに
西日本区理事 : 「響きあい、ともに歩む To walk together, echoing each other」
 - 心豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく-
中部部長 : 「将来を見つめたワイズ活動!」を今やってみよう!
プラザクラブ会長 : 「継続するクラブ活動を進めよう!」
強調月間・活動 : 【LT (Leadership Training) ・ワイズメンズクラブの未来のために、クラブ・部・区での研修だけでなく、個人のスキルアップのための自己研鑽に励みましょう。】

5月例会および今後の予定案内

【5月第1例会】

日時：5月14日(木)・18：45-
 場所：名古屋YMCA 5F会議室
 内容：卓話・「俳句入門」
 講師・大島 孝三郎

【5月第2例会】

日時：5月28日(木)・18：45-
 場所：名古屋YMCA会議室
 内容：次月例会の打ち合わせ
 出席義務者：役員(後藤・榎田・鈴木)
 6月担当者(島崎・西野)

【今後の予定】

- 陶芸教室
 日時：5月2日(土)・現地集合 10：00
 場所：佐渡山工房
 土岐市下石(おろし)町 0572-57-2656
 費用：5,000円/人
- ワイズ連絡会
 日時：5月13日(水)・(予定 19：00-)
 場所：名古屋YMCA 5F会議室
- 夢・希望フォーラム
 日時：5月16日(土)・13：30-17：00
 場所：南山ファミリーYMCA 2F講堂
- 6月第1例会
 日時：6月11日(木)・18：30-
 場所：名古屋YMCA 会議室
 内容：決算報告

4月例会およびその他活動報告

(敬称略)

役員	会員氏名	出席者			
		1	2	①②③④⑤⑥⑦	
	大島 孝三郎	○	○		
	小澤 幸男	○			
書記	榎田 守隆	○	○		
会長	後藤 猛	○	○	○	
	島崎 正剛	○		○	
会計	鈴木 誉三	○	○		
	高田 廣	○	○		
連絡主事	西野 真希	○	○		
ゲスト					
諸活動	①第3回中部評議会・EMC200 推進委員会 4/25				

出席率(%)				100.0	
クラブファンド(円) ・当月/累計				0	64,010
6月号寄稿者・後藤 (1600-2000字程度)					
7月号・榎田					

【2014-15年度クラブ役員】メネット連絡員・後藤猛/副会長・YMCA サービス・小澤幸男/プリテン委員長・榎田守隆/EMC. BF. EF. JWF. メール委員・大島孝三郎/広報事業・鈴木誉三 /IBC. YEEP・島崎正剛/CS. TOP・高田廣/連絡主事・西野真希

4 月第 1 例会報告

日時:4 月 9 日(木)・18:30-19:15

場所:名古屋 YMCA 5F 会議室

連絡・報告事項

1. 後藤会長

(1)名古屋 YMCA 新館建築募金
各自口数判断のうえ寄付のこと。

(2)第 3 回中部評議会(4/25)

出席:後藤・島崎

(3)第 18 回西日本区大会(6/13)

出席:島崎

(4)6 月第 1 例会

プラザクラブ最後の第 1 例会は 1 泊旅行で締めたい。
案・奥飛騨温泉郷進穂高温泉「まほろば」、5 月第 1 例会で話し合う。

(5)解散後の集會

7 月以後プラザが開催していたクラブ行事の打ち合わせ、親睦などで集合する場合の「連絡役」は榎田、「場所」はケンポー、「日時」は原則とし第 3 木曜日とする。「費用」は適宜徴収する。

2. 榎田

(1)ワイズ連絡会報告

a. 西宮クラブ要請の盛岡 YMCA 支援金は、クラブ毎に直接盛岡 YMCA に送る。鈴木会計は 1 万円を送金手続きをお願いします。

b. 次回開催日は 5 月 13 日(水)午後 7 時から名古屋 YMCA 5F 会議室、会議終了後懇親会を行いますので新旧会長とそれ以外の方も参加を歓迎いたします。

出席:大島・榎田

(2)陶芸教室開催(5/2)

出席:後藤・島崎・(榎田)

(3)ブリテン郵送用封筒作成

名古屋 YMCA の新住所を印刷した封筒 3 ヶ月分 40 枚を 5 月第 1 例会までに西野さんへ作成依頼する。

3. 小澤

6 月老人ホーム音楽訪問開催

日時、場所を 5 月第 1 例会までに確定する。

名古屋 YMCA 新館見学



西野さんの案内で 5 階から 1 階まで見てまわる。



懇親会

大島さんが知っていた居酒屋、「いごこ家」に 7 時半に到着、4 人掛けの掘り炬燵 2 つが並んだ部屋に通された。乾杯で始まり、ビールを飲みながらのお話は、他愛のないことばかり。話の合間に「あっ、そうだ、クラブ解散後は・・・」とか「6 月の第 1 例会は・・・」などと、先の会議であげるような提案が、ポンポン出てくる。聞きながら、会議の議事録に書くため覚えておこう、でも記憶力は大丈夫? と心配しながら飲み続ける。肝心の 5 月例会の内容を決めないまま、9 時半ごろお開きになった。



4 月第 2 例会

日時:4 月 23 日(木)・18:45-19:30

場所:名古屋 YMCA 会議室

連絡事項

1. 後藤会長

(1) 春の根ノ上まつり

参加者：大島

(2) 陶芸教室

参加者：後藤・島崎・櫛田

(3) 5月第1例会

現在「句会」に入って勉強中の大島さんに、俳句のルール、タブー、季語など初歩の初歩を「俳句入門」の演題で願います。

(4) クラブ解散後の物品処理

a. クラブ旗・破棄

b. 鐘・グランパスクラブに譲渡

c. 万国旗・当面YMCAに保管し譲渡先がない場合は、西野さんに破棄してもらう。

(5) 6月第1例会

詳細は1面参照のこと。

6月の第1例会は「サヨナラ旅行」で締める予定でしたが、みなさんの日程が合わず7月に変更、旅行の日時、場所は5月第1例会で決定する。

2. 櫛田

陶芸教室

後藤会長から報告通り、今回の陶芸教室はプラザの3人のみになりました。今後、この事業の継続については過去参加した方々と相談する。

3. 西野

夢・希望フォーラム

詳細は1面参照のこと。

最近の私の英語勉強法

今のところ英語を実用にする機会はないが、趣味として力を伸ばそうと努力している。このところ2~3年間、以前より集中的に英語に時間を割くようになってきたところ、語彙が増え、聞く力が付き、読む力も向上したと感じている。そこで教材のいくつかを揚げ、その特徴を説明したいと思う。

①オーストラリアへ留学した人が発信するメルマガ「YOSHIのネイティブフレーズ」。これは学校で教える英語には出てこない、ネイティブな人たちが日常に使っている会話表現集のブログである。会話の能力向上にはこれらのフレーズをたくさん覚えることが最高の近道であること主張している。毎日一つのフレーズがスキットの中で紹介されている。これまで活字での配信であったが、ちょうど今、過去の配信がバックナンバー付きのCDになって発売された。これをまだ購入していないが、存在を心に留めておこう。

②NHK Eテレの週1回20分の「ニュースで英会話」。(同様のラジオ番組を含めて週5回)私はこれを予約録画により欠かさず見ている。これはニュースを通して新語や新しい表現を学ぶことができるものである。世界や日本の出来事を英語の勉強を兼ねて把握することができる。まずニュースに出てくるキーワードをまとめたコーナー

があり、次のニュースの背景や関連する事柄が解説される。リスニングの訓練のチャンスと訳の説明がされる。さらにこの番組が1ページの大きさに編集され、英文と和文の活字をインターネットで見ることでもでき、音声も付けられて何度でも聞き返すことができる。本文の音声は約2分間である。関心の強弱によるが何回か繰り返しているうちに、かなりよく耳に入るようになる。

③NHK ラジオテキスト「攻略! 英語リスニング」。3月号をCD付きで初めて購入した。その中に4つのトピックが入っていた。例えば、「The Arabian Nights」があったが、読めば内容はやさしいが、耳だけで聞くと分かりにくかった。知らない単語と固有名詞は難しい。この難易度は<B2>(社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現することが出来るレベル、中級の上か?)、道理で私には難しいものであった。

④Eテレの「TED スーパープレゼンテーション」。TED (Technology Entertainment Design)とは、価値あるアイデアを世に広めることを目的にしたアメリカの非営利団体。MIT(マサチューセッツ工科大学)メディアラボの日本人初の所長 Joi Ito(伊藤穰一)がこの番組を案内している。この番組は特異な、独創的な各分野のスピーカーの講演会の録画を公開しているものである。英語による講演に日本語の字幕が付けてあり、貴重な内容の理解と同時に英語の学習を勧めているものである。字幕中心に視聴していてもかなり耳で理解した気になることもある。

とにかく最近是最初に書いたように趣味として、時間があれば英語中毒になったかのように貪って勉強している。進歩の自覚が楽しいのである。これからも続けていく積りである。

(大島 孝三郎)

私とYMCA

中高一貫のミッションスクールに通っていたため、多少YMCAに縁はあったが、上前津に訪れたことはない。だが・・・。

中学3年の時、友達に誘われてキャンプスクールに行ったことがある。場所やプログラムは全く覚えていない。微かに覚えているのは、同じ年頃の仲間たちが数班に分かれ、大学生と思しきお兄さんたちから、1人1人に台詞と仕草を教えられ、班ごとに舞台?で寸劇をご披露する学芸会である。私はしゃがんだまま天を仰ぎ、簡単な台詞を叫ぶ役で、出し物は「東方の三博士」だったと思う。

わが班の番になり、私1人を残しみんな一斉に舞台に出てしまい、心細かったのか出番を間違えた。舞台中央でしゃがみ込み、「カミ、カミ」と言いながら天を仰ぎ右手を上げ、さらに「カミ、お母さん、紙持ってきて!」と叫んだ。見当違いの場面に出て来てこの台詞に大受け、横の大学生に小声で「戻れ、戻れ」と促され、もう一度

出たとき見物人は大喜びでしたが、本人は大汗だった。

演目は不確かだが、台詞ははっきり覚えている。「カミ(神)」などと言わせるのはキリスト教関係の団体、大学生はリーダーではなかっただろうか。1953年根ノ上キャンプ場建設にも合いそうで、このあたりが初のYMCAとの出会いだったかもしれない。

1987年50歳の時、プラザクラブの設立に立ち会い、2年後転勤で退会、2002年に再入会し「会長職をお断りする代わりに書記とブリテンを引き受けます」との我儘を聞いてもらい、2004年6月から毎月ブリテンのコピーにYMCAへ通っている。

「私とYMCA」というお題をいただき、過去の「名古屋青年」を紐解きながら、みなさんのような深い繋がりも高邁な思い入れもなかった(ごめんなさい)私には、やっと思い出したエピソードです。

(名古屋青年 2015年3月号から転載する・榎田守隆)

聖書の言葉

【また、だれにでも軽々しく按手(あんしゅ・人の頭に手を置く行為)をしてはいけません。また、他人の罪にかかわりを持ってはいけません。自分を清く保ちなさい。これからは水ばかり飲まないで、胃のために、また、たびたび起こる病気のためにも、少量のぶどう酒を用いなさい。(テモテへの手紙 第一5.22-23)】

【テモテはリュストラ(現在のトルコ南部)出身の初期キリスト教徒でパウロの協力者、弟子。テモテへの手紙第一および第二はパウロがテモテに宛てる形で書かれた書簡だが、現代の研究では「聖書を神の言葉と信ずる」プロテスタント福音派を除き、パウロの死後、他の著者によって書かれたものであると考えられている。

パウロから長老(初期キリスト教会の指導者)への訴えは2,3人の証人がなければ受理してはいけない、受理したならば偏見なく公正に事を進めなさい、長老の資格審査は時間をかけて慎重に行うこと、などいろいろ厳しい助言を受けたテモテはストレスに陥って顔色が悪い。そんなテモテの身を案じたパウロは「胃の調子が良くないようですね、ぶどう酒を少し飲んでみなさい」と勧めた、というところか。】

【テレビドラマで「わたし、失敗しないので」が決め台詞の外科医を演じた女性タレントが、結婚4ヶ月目で離婚に向けた準備を進めている、とお屋のワイドショーが伝えている。夫のモラハラ(モラル・ハラスメント)が指摘されており、つい先日も24歳年下の嫁さんから三行半を突き付けられた高橋某も同じ理由らしい。

近ごろは聞きなれないハラスメントがある。シルバー・ハラスメント、カラオケ・ハラスメントは何となく意味は分かるが、スメハラ(スルメ・ハラスメント・体臭や香水などで周囲に不快感を与えること)は判じ物である。

大学の新生が、歓迎コンパでアルハラを受けて救急

車のお世話になる者が続出する4月は、暑気払いの7月と忘年会の12月同様救急搬送が増える月であるが、年齢別では圧倒的に未成年、20歳代が多いのもこの月の特徴である。(アサヒビール調査)

一気飲みなど本人の意に反した飲酒強要の刑事・民事責任は、強要罪(3年以下の懲役)、傷害罪(10年以下の懲役または30万円以下の罰金もしくは科料)、死亡した場合は傷害致死罪(2年以上の有期懲役)、その周りで嘔した者は傷害現場助勢罪(1年以下の懲役または10万円以下の罰金もしくは科料)を問われますので、新生を迎えられる学生のみなさん、注意しましょう。】

Zoom・話題の本を読む(2004年7月号・再掲)

野瀬 泰申 著・「全日本 食の方言地図」

かつお節と昆布だしをとり、濃口醤油と塩を加えて調味し、煮立ったらサイコロ状に切った豆腐を入れ、さらに煮込んだすまし汁を椀に注ぐ。そこへ茹でた切餅を入れ、紅白の蒲鉾を二切れと湯がいた小松菜(ホウレンソウを代用することがある)を盛り付け、花かつおを振り掛けたのが我が家の「雑煮」である。これが日本全国共通だと高校時代まで思っていたが、そうではなかった。あらためて、食文化は様々であることをこの本は教えてくれる。◆著者は日本経済新聞社の文化部編集委員。社の企画「食べ物について、読者と双方向に」とホームページを使い、読者のメールを都道府県別に集計して数値化し、時には現地を歩いて実証しながら濃淡の分布図を作り、それを「食の方言」と表現している。ソースや納豆など五つのテーマを微に入り細に入り徹底的に検証しているのは、ネットが道具だから出来たのだろう。◆関西と関東の食の違いに丸餅と切餅、薄口と濃口などは一般に知られており、大阪人の納豆嫌いも有名である。納豆の検証結果は、大嫌いが福井・徳島・滋賀と関西勢が続き、大阪府はベストテンからはずれたのは意外である。逆に大好き派は、宮城・宮崎・山形の順で10位までに東北4県がランクインする納豆王国である。ランク外の秋田では、砂糖をかけるそうで、酒の肴に甘納豆とは付き合い辛い。◆では質問、「あなたの家庭では、天ぷらにソースをかけますか」、「いいえ、我が家は天つゆです」と答えた人は、近い祖先が関東・東北・北海道の出身者です。食の方言は、新潟・群馬・山梨・神奈川を境にした以東と中部以西の沖縄まで、見事に日本を二分する地図になった。何気なく食べていた家庭料理が、実は地方特異の食べ方だったことを知らされ、思わず「にやり」とする本である。

(2004年7月号からブリテン係を担当して11年になる。最初は裏表2ページのお粗末なものでしたが、2005年6月号からみなさんの原稿をいただきながら4ページに、2009年10月号からはデジカメを買って、息子にパソコン操作を覚えてもらいカラー写真を掲載するなど、中身はともかく体裁は良くなってきたようで・・・ある。)